

CHINESE MANAGEMENT & MARKETING SCHOOL

— 華人経営研究 CMMS —

中国・華人圏 ビジネスの本質

当代一流講師陣が華人経営の核心に迫ります！

第18期

〈 全講座オンライン
オンデマンド視聴可 〉

2024年4月～2024年8月

主催 NPO法人 日本香港協会
二松学舎大学



二松学舎大学

後援：日本貿易振興機構 (JETRO)
日本商工会議所
東京商工会議所

オンライン運営支援：バルビエコーポレーション株式会社

CHINESE MANAGEMENT AND MARKETING SCHOOL

— 華人経営研究 —

開講の主旨と狙い

21世紀初頭より飛躍的に拡大してきた中国経済も、ここ数年、米中貿易摩擦、コロナ禍の影響や西側諸国による対中制裁等により経済環境を取り巻く情勢が激変し、日本企業にとっては巨大市場ではありながらも、事業リスクへの対応が求められている時代です。日本香港協会では、中国経済を動かす「華人経営」即ち中国古来の思想を底流に持つ経営の本質を解明する目的で、2003年より関西日本香港協会と香港大学の共催により「華人経営研究(CMMS)」講座をスタート、2018年からは、当協会と、中国とゆかりの深い二松学舎大学との共催となり、第18期は、完全オンライン配信講座として3期目を迎えます。本講の特徴はカリキュラムと華人の捉え方にあります。カリキュラムは、理論編、実践編の2分野から構成され、理論編では華人社会の基礎概念を歴史・思想・社会学等から抽出して学習し、華人の経営原理の理解を深めます。一方、実践編では、現在の中国経済の実態、華人の経営行動や中国における事業リスク、また香港コネクション編として、香港ビジネスの現況も解説します。当会は、本講座を通して、現代の中国・華人圏ビジネスに柔軟に対応できる人材の育成の一助となることを目指しています。

ご挨拶



日本香港協会 会長
佐藤 征洋 氏

日本香港協会は北海道から沖縄まで国内主要11都市に設立され、約1,100名の会員を擁して日本と香港の間の経済、文化面で交流の輪を広げることを目的として活動しております。当協会は香港を介した中国やその他各国とのビジネスの促進、ビジネスセミナー、語学教室、学生交流、文化交流等のイベントをとり進める事を活動範囲としております。

このような協会の重要なイベントの一つとして当協会は二松学舎大学と共同主催で、「CHINESE MANAGEMENT & MARKETING SCHOOL (CMMS)」即ち華人経営研究講座を長年運営してきております。国内一流大学の講師が中国古来の伝統と思想の根底を講義、解説し、中国・華人とのビジネス経験豊富な講師が最近の中国、香港の現状をも分析、華人の底流にある考えや行動様式を説いて、受講者からは大変好評を博しております。

中国大陸やアジアその他の国々の華人と関わる方々には是非この講座を受講いただき、理論編では華人の歴史的、根源的な考えを学び、実践編ではビジネス経験の豊かな講師によるビジネスの核心に迫る講義を是非受けて理解を深めて頂きたい所存です。当講座は、ますます不確実性が高まる中国・華人圏なビジネスでの有効な道しるべの一つとなるものと考えます。尚、当協会は香港貿易発展局が事務局を務める香港ビジネス協会世界連盟(世界36ヶ国・地域に設立されている47の協会)に属しており、当協会の会員は香港で毎年12月初旬に開催される香港フォーラムに参加が可能です。世界各地から参加する数百名の海外会員と交流を深め、最新の中国、香港、アジアその他の国々とのビジネス情報を得ながら人脈を作ることができ、まさにアジア、その他世界の国々の経済で華人ネットワークが大きな役割を担っていることも実感できます。当講座を受講の上、会員になっていただければこのような特典もありますので、是非とも積極的に受講をご検討の程お願い申し上げます。



主催団体紹介

〈日本香港協会〉

日本香港協会は日本と香港の文化・経済・社会面で交流の輪を広げることを目的に民間の任意団体として、1988年に東京に設立されました。1989年以降、関西・中京・九州・山形・北海道・宮城・沖縄・広島・新潟・高知と各地に協会が設立されるに至り、これら日本全国各地に広がる協会活動をサポート・コーディネートする目的で、2008年には全国連合会が発足しました。なお、東京に設立された協会は2002年に特定非営利法人となっています。

香港ビジネス協会世界連盟(Federation of Hong Kong Business Associations Worldwide)は、世界36ヶ国・地域に設立されている47の協会を統括する非営利組織として2000年に発足、香港貿易発展局が事務局機能を担っています。香港ビジネス協会世界連盟は、合計11,000人以上のメンバーが所属する国際ネットワークで、主たるメンバーは香港・中国や中華圏と強力なコネクションを有するビジネス関係者です。

日本香港協会は香港ビジネス協会世界連盟の一員です。日本香港協会に入会されると、自動的に香港ビジネス協会世界連盟のメンバーとしても登録され、様々な交流イベントに参加することができます。

〈二松学舎大学〉

二松学舎大学は、1877(明治10)年10月10日、漢学者であり明治法曹界の重鎮でもあった三島中洲が、現在の大学九段キャンパスの地に漢学塾二松学舎を創立したことに始まります。三島中洲は、明治期の文明開化による西歐文明偏重の風潮の中にあって、東洋の精神や文化を学ぶことの大切さを説き、日本人として自己を確立するとともに、社会に貢献できる人材の育成を目指しました。

現在は、文学部(国文学科・中国文学科・都市文化デザイン学科・歴史文化学科)、国際政治経済学部(国際政治経済学科・国際経営学科)、大学院文学研究科(博士前期課程・後期課程/国文学専攻・中国学専攻)、国際政治経済学研究科(修士課程/国際政治経済学専攻)、国際日本学研究科(修士課程/国際日本学専攻)の2学部6学科、大学院3研究科4専攻のもと、三島中洲の「育英」の志を引き継ぎ、東洋文化への理解と言葉の力を礎に、社会に貢献する人材育成に努めています。

2022年10月10日には創立145周年を迎えました。今後も、多様化する社会の要請に応えるべく、教育研究機関としての機能強化・人材育成に邁進していきます。

●受講者からのコメント

受講前の感想

80年代に見た「発展途上国だった中国」と今の深圳に代表される「世界の最先端に行く中国」のギャップを消化しきれず、何やら得体の知れない「異形の大国」であると妄想し、無理矢理納得していた。

受講後の感想

依然、内なる「二つの中国像」は完全に繋がってはいないが、それが過去30年間、「変わらな過ぎた日本」に由来していること、一方「激変」しているように見えて、実は社会の成り立ち・対人関係といった根本部分では遙か昔から「変わっていない」ことが理解できたことは大きな収穫だった。これを足掛かりに「異形の大国」の変化のメカニズムを、この先少しでも解明できれば、と考えている。

三井住友信託銀行 調査部 主管 湊崎 俊也 氏 (令和3年度修了)

受講前の感想

経済安全保障関連の業務を行っている為、中国共産党が何を考えているのか、どう動くのかという視点を中心に中国を眺めていた。

受講後の感想

政治、経済、思想を始め、中国を体系的、網羅的に学ぶ機会を得ることが出来た。中国経済の高成長を華人ビジネス・華人ネットワークの歴史と奥深さに触れ、改めて中国経済の強さを再認識した。

東レ株式会社 経営企画室 担当部長 永屋 竜馬 氏 (令和3年度修了)

受講前の感想

中国に対しては、家族や面子重視、プライドが高い、約束が守られないことが多いという一般的、表面的な理解であった。

受講後の感想

本講座では、特に理論編において、その歴史や思想的背景など根源的な部分から、「何故今そうなっているのか」を体系的に紐解いてもらった。中国や華人ビジネスをどのように理解し、どのように対峙すべきかについて多くの学び・示唆が得られたと思う。また、実践編では、中国経済分析や香港に関する講座も大変参考になった。

住友商事株式会社 グローバル業務部 課長代理 清水 来 氏 (令和3年度修了)

受講前の感想

この10年余り、会社業務で中国ビジネスに関わり、上海、香港駐在を通して現代中国に接した事から得た体験、共産党一党支配下及び香港一国二制度での異なったビジネス活動からの狭義の偏った中国観に限定されたもの。

受講後の感想

中国史、中華思想、華僑・華人の成り立ち、特徴等、華人を学ぶ事ができ、中国観をより幅広く知ることが出来た。それをベースに現在の中国・香港・台湾の状況を新たな視点で見れるのでは、と思っています。

日立製作所 営業統括本部 海外拠点支援部 シニアアドバイザー 中江隆比古 (令和4年度修了)

第18期 募集内容

対象者	中国事業を展開する企業経営者、幹部、管理部門責任者、中国ビジネス担当者、中国赴任予定者、弁護士、公認会計士、税理士、大学生、大学院生等		
開講期間	2024年 4月～2024年 8月(詳細別紙参照)	受講日時と費用	別紙参照
事務局	〒102-0083 東京都千代田区麴町3-4-5 トラストイ麹町ビル 6階 (香港貿易発展局内)		

まずは文化や思想の異なる相手を知る。
当代一流の教授陣が講義します。

中小企業、ベンチャー、大企業の海外事業に携わる皆さまへ。
「理論編」では、古代から現代まで思想文化と歴史を概観し、
そこから派生した「国情」「中国思想」「戦術」のパラダイムから解明します。
それにより、中国人特有の“関係”“面子”“人情”の本質に迫ります。

理論編



北九州市立大学
大学院 教授
王 効平 氏

国情



東京大学 教授
園田 茂人 氏



慶応義塾大学
法学部 教授
高橋 伸夫 氏



東京大学 大学院
人文社会系研究科 教授
小島 毅 氏

中国思想



二松学舎大学
文学部 教授
牧角 悦子 氏



大阪大学
名誉教授
湯浅 邦弘 氏

戦術

(孫子・韓非子・三国志)



早稲田大学
常任理事・文学学術院 教授
渡邊 義浩 氏

実践編

次に中国・華人圏ビジネスの実体を知る

「実践編」では、中国市場や華人経済圏に精通した専門家が、長年に亘り培われた知見、現場経験から中国・華人圏ビジネスの実体にどう向き合っていけば良いのか、分かり易く分析、解説します。

野村資本市場研究所
シニアフェロー
関志雄氏



経済分析

甲南大学
経営学部 教授
杉田俊明氏



事業経営 戦略

水野コンサルタンシー
ホールディングス
代表
水野真澄氏



日中経済協会
理事 調査部長
高見澤学氏



リスクマネジメント

日本貿易振興機構(JETRO)
香港事務所長
天野真也氏



香港 コネクション

香港貿易発展局
東京事務所長
伊東正裕氏



日中投資促進機構
事務局長
岡豊樹氏



早稲田大学
法学大学院 教授
萬歳寛之氏



特別講義

モデレーター：日本香港協会 理事 桜井知治 / 中江隆比古

理論編 (第1回～第8回)		実践編 (第9回～第17回)	
第1回	華人論「華人企業の経営構造」 華人経営に於ける起業家精神、戦略立案、企業統治、財務構造、資本調達の特徴を学ぶ	第9回	経済分析「中国経済の現状と展望」 中国経済の真の課題は何か、社会主義市場経済の実相を解明し、その課題と近未来を展望する
第2回	中国人論「中国人の心理と行動」 現代華人・中国人の深層心理の源泉とその行動規範の特異性を学ぶ	第10回	事業経営戦略Ⅰ 「グローバル化する華人ネットワーク」 日本企業はどう対応するべきか？
第3回	中国政治「中国の政治制度を考える」 中国政治の特質と課題の本質を論じ、国情とは何かを学ぶ	第11回	事業経営戦略Ⅱ 中国における事業活動の経験から見た今後の事業展開についての示唆
第4回	戦術「孫子と兵法三十六計」 華人の戦略的思考の源泉を「孫子」に求め、「戦わずして勝つ」不戦と兵法三十六計の本質を知る	第12回	事業経営戦略Ⅲ 「中華圏での起業とネットワーク構築」 中華圏での起業とビジネス展開を、実体験と直面した困難を踏まえて解説します
第5回	戦術「荀子と韓非子」(法家) 韓非子の法思想と秦帝国の法治主義について解説し、それが現在の主要先進国の法治体制とどのように違うのか考える	第13回	リスクマネジメントⅠ 日系企業のビジネス環境に対するリスクマネジメントを解説する
第6回	戦術「三国志」 「漢」という、後の国家が規範とする「古典中国」が崩壊したのち、中国は魏・蜀・呉の三国が並び立つ今回は蜀の丞相である諸葛亮について解説する	第14回	リスクマネジメントⅡ 「中国企業の台頭とリスク分析」 中国市場や中国企業の動向から日本企業の事業戦略やチャイナリスクを考える
第7回	中国思想史 「中国における天思想と公私の概念について」 中国独特の天思想と日中の公私概念の差異を解説する	第15回	香港コネクションⅠ 香港のビジネスハブとしての価値と行方
第8回	中国思想「儒教」 中国の社会と文化における儒教思想の役割 その歴史的変遷と現代における再評価を考える	第16回	香港コネクションⅡ 大湾区・RCEP・大中華圏における香港の機能と役割
		第17回	特別講義 香港・台湾の自由主義経済の行方と国際法の役割
※ 講義時間は19:00～20:45(日本時間) ※ 日程及び講師・講義内容は変更の可能性がありますので、予めご了承ください。受講者には事前通知いたします。 第8回中国思想「儒教」(牧角悦子講師)は、二松学舎大学にて対面・オンライン併用によるハイブリット形式の講義を実施する予定です。			

講師紹介

理論編

華人論「華人企業の経営構造」

王 効平 氏

北九州市立大学 大学院 教授 同中華ビジネス研究センター長
九州大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、経済学博士号取得。北九州市立大学経済学部准教授を経て、00年教授。11-17年大学院マネジメント研究科長、14年中華ビジネス研究センター長、現在に至る。専門：国際経営学、比較経営学。

中国人論「中国人の心理と行動」

園田 茂人 氏

東京大学 東洋文化研究所 教授
東京大学文学部助手、中央大学文学部教授、早稲田大学大学院アジア太平洋研究所教授などを経て09年より現職、東京大学副学長歴任。専門はアジアの社会階層比較、日系企業のアジア進出と文化の変化など。

中国政治「中国の政治制度を考える」

高橋 伸夫 氏

慶應義塾大学 法学部 教授
84年筑波大学院地域研究科修士課程修了、87年慶應義塾大学院法学研究科博士課程取得、98年同助教授、05年教授。中国の現代政治制度への造詣が深く、定期的に中国の大学へ学生を連れてゆき学術交流している。

戦術「孫子と兵法三十六計」

戦術「荀子と韓非子」

湯浅 邦弘 氏

大阪大学 名誉教授
大阪大学大学院修了、博士(文学)、専攻は中国思想史。
著書に「諸子百家」(中公新書)、「孫子・三十六計」「孫子の兵法」(角川ソフィア文庫)、「軍国日本と『孫子』」(ちくま新書)、「中国思想基本用語集」(ミネルヴァ書房)など多数。

戦術「三国志」

渡邊 義浩 氏

早稲田大学 常任理事 文学学術院 教授
62年東京都生まれ。文学博士。学校法人大隈記念早稲田佐賀学院長。専攻は「古典中国」学。著書「後漢国家の支配と儒教」「三国政権の構造と名士」「三国志よりみた邪馬台国」など多数。

中国思想史

小島 毅 氏

東京大学 大学院 人文社会系研究科 教授
87年東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了、東京大学東洋文化研究所助手、徳島大学総合科学部助教授を経て、96年東京大学大学院人文社会系研究科助教授。専門は中国思想史(儒教史、東アジア王権論)

中国思想「儒教」

牧角 悦子 氏

二松学舎大学 文学部長・文学部教授 文学博士
九州大学大学院文学研究科中国文学専攻、同大学院博士後期課程中退、01年二松学舎大学教授、10年「開一多研究」で京大文学博士、現在東アジア学術総合研究所所長兼務、日本開一多学会代表幹事、六朝学術学会理事、日本中国学会・日本儒教会学評議員。

実践編

経済分析「中国経済の現状と展望」

関 志雄 氏

野村資本市場研究所 シニアフェロー
東京大学経済学博士、87年香港上海銀行本社経済調査部エコノミスト、87年野村総合研究所入社、経済調査部主任研究員、経済調査部アジア調査室長を経て01年独立行政法人経済産業研究所上席研究員、04年から現職。

事業経営戦略 I

杉田 俊明 氏

甲南大学 経営学部 教授
商社、コンサルタント会社を経て現職に。中国中山大学管理学院MBA客座教授、台湾・東海大学管理学院EMBA客座教授、NHKラジオ中国語講座応用編とビジネススクールコーナー担当などを歴任。東京都出身。幼少期から13年間の北京を含めて中国での通算滞在は25年を超える。

事業経営戦略 II

福井 一 氏

日本香港協会 事務局長
80年一橋大学商学部卒業、住友商事入社、80年代に北京駐在二度、98年香港駐在、05年在広東省惠州事業会社副総経理、13年在江蘇省昆山事業会社総経理を経て18年退職、中国関連コンサルタント会社代表、日本香港協会事務局長兼職。

事業経営戦略 III「中華圏での起業とネットワーク構築」

水野 真澄 氏
水野コンサルタンシーホールディングス 代表
87年早稲田大学政治経済学部卒業、同年丸紅入社。本社経理部、香港、中国本土駐在(上海、広東省、福建省)を経て、08年丸紅退職、Mizuno Consultancy Holdings Ltd(水野諮詢集団有限公司)を香港に設立。現在8拠点において中国・アジアでビジネス展開を行う日系企業に対するコンサルティング業務を推進。広州市政府シンクタンクメンバー、広東省肇慶市顧問、香港貿易発展局アドバイザー兼務。「中国外貨管理マニュアルQ&A」、「中国ビジネス投資Q&A」等多数の著書あり。

リスクマネジメント I

高見澤 学 氏

日中経済協会 理事 調査部長
87年筑波大学大学院地域研究科修士課程修了、日中石油開発株式会社勤務を経て、00年10月日中経済協会入会。21年7月理事就任、同年10月より現職。主に中国のエネルギー及び環境政策・動向を通じて中国経済、日中経済関係を分析。主な著書に、「中国の知恵と日本の伝統が民を濟う崩壊する虚構経済からの脱却」「リプロ(単著)」、「新時代のエネルギーフロンティアー初めて語る日中石油・エネルギー協力の真実」リプロ(単著)等。

リスクマネジメント II

岡 豊樹 氏

日中投資促進機構 事務局長
86年神戸大学卒業、現みずほ銀行入行、北京・上海・香港に勤務、執行役員(行長・董事長)後、みずほ銀行理事、日中投資促進機構事務局長。上海白玉蘭賞、南開大学・大連外大等客員教授を兼務。

香港コネクション I

天野 真也 氏

日本貿易振興機構(JETRO) 香港事務所長
93年にJETROに入構。95年、対外貿易経済大学(北京)にて語学研修。その後、北京、広州、武漢に駐在。中国北アジア課長、知的財産課長を経て、23年10月より香港に駐在。主に中国に進出する日本企業の支援業務に携わり、香港では、日本食品の輸出振興、香港、台湾企業の対日投資誘致などに取り組む。

香港コネクション II

伊東 正裕 氏

香港貿易発展局 東京事務所長
85年味の素入社、台湾、香港、広州、上海駐在を含め、約14年にわたり中国関係の業務に従事、06年香港貿易発展局マーケティングマネジャー、07年東京事務所次長、12年大阪事務所長を経て、18年から現職。英国レスター大学経営学大学院修了(MBA)、関西、中京、高知、東京の日本香港協会の理事を歴任。

特別講義

萬歳 寛之 氏

早稲田大学 法学学術院 教授
95年早稲田大学法学部卒業、研究テーマ：「国家の国際違法行為責任」(16年 安達峰一郎記念賞受賞) 国際法研究会委員(外務省国際法局)

孫子曰く、、

彼れを知り己れを知らば、百戦して殆うからず。

彼れを知らずして己れを知らば、一勝一負す。

彼れを知らず己れを知らざれば、戦う毎に必ず殆うし。



●事務局

NPO法人 日本香港協会

〒102-0083

東京都千代田区麹町3-4-5

トラスティ麹町ビル6階

香港貿易発展局東京事務所内

TEL 03-5210-5870

